

神の方法で ビジネスを行う

神がどのようにリソースを管理するかを学び
私たちも良き管理者となろう

www.gostrategic.org/jp

デニス・ピーコックの他の著書

裸の王様 2003年

人間の思考の戦いに勝つ 1987年

神の方法で ビジネスを行う

神がどのようにリソースを管理するかを学び
私たちも良き管理者となろう

デニス・ピーコック著

神の方法でビジネスを行う

デニス・ピーコック著

初版

神の方法でビジネスを行う、全能者とその子供たち ©1995

出版社 REBUILD

P.O. Box 2492

Santa Rosa, California 95405

www.gostrategic.org/jp

改定増補

©2003 デニス・ピーコック著

第二版 2007

全著作権所有。本書のいかなる部分も、批評記事や書評での簡単な引用の場合を除き、出版社からの書面による許可なしには、いかなる形式においても複製することはできません。

聖書の引用は新アメリカ標準訳聖書®による。

著作権©1960、1962、1963、1968、1971、1972、1973、1975、1977年、1995年。

ロックマン財団による。許可を得て使用している。(www.Lockman.org)

日本語版の聖書の引用は口語訳聖書による。その他の聖句は引用箇所に詳細掲載。

ISBN978-1-887021-02-9

米国で印刷、製本

私の父、フレッド・ピーコックへ
父は歴史を愛し、人間が世界を治めることに
深い関心を持っていたので、倫理的なビジネスマン、
神の地球を愛する人となりました。

多くの人がこの本の執筆で私を助けてくださいました。

8年前の初版を可能にしたのは、この間の無数の講義と多くの方々の寛大な支援のおかげです。

重要なことを成し遂げるのは、ひとりではなく多くの助け手によるもので、この大きな第三刷を可能にしたのも多くの方々の助けによるものです。

友人のみなさん、ありがとうございます。

私たちの働きが変化を作り出しています。

目次

前書き	ix
導入	xi
経済伝道：魚の食いつくえさで魚を釣る	

第1部

マーケットプレイス（市場）におけるクリスチャンの役割	1
----------------------------	---

第1章	神はファミリービジネスを構築している	3
	基本原則1 私有財産を創造したのは神である	
第2章	財産を管理することで人は成熟する	19
	基本原則2 人や物の世話をすることによって 私たちは成長する	
第3章	世代間の富と家族	33
	基本原則3 すべての永続する富は家族を通して来て、 世代間で構築される	
第4章	私たちの神は仕事が好き	51
	基本原則4 仕事は聖なる、永遠の召しである	
第5章	ファミリービジネスの製品はサービス	63
	基本原則5 サービスは、すべての永続的な 成長の基盤である	

第2部

豊かで公正な社会を築くために必要な土台	75
---------------------	----

第6章	お金が人間について明らかにすること	77
	基本原則6 神は注文したものの支払いをする	
第7章	リスク、自己尊重、贖いの奮闘	90
	基本原則7 失敗の可能性は人間の成長に不可欠である	

第 8 章	貧困の根を明らかにする	102
	基本原則 8 考えと行動は、結果をともしなう	
第 9 章	正義と平等は同じではない	118
	基本原則 9 人間は平等ではない。富の再分配をしても、 この事実は変えられない	
第 10 章	敬虔な政治は平和と生産性を生み出す	129
	基本原則 10 聖書的な政治は、生産性を高める	
第 11 章	あなたを成功に導く不可欠な三本の糸	139
	基本原則 11 クリスチャンは、世界の国々に対する 神の計画を実行するために、弟子として生き、 思いを刷新し、一致しなければならない	
第 12 章	真のラジカルへの招き	148
	基本原則 12 根の構造を発見し、そこから構築する	
著者 デニス・ピーコック		160
GoStrategic について		161

前書き

この本は私が何年にもわたって研究し、話し合い、また1980年代に私が教えたセミナーの集大成です。私にとっていつも明確だったことは、この現実の世界で測定可能な変化につながらない霊的真理は、明確に理解されていない、もしくは見当違いだと言うことです。確実に言える事は、経済とビジネスは今の現実に関することであり、問題はこの二つの努力を結びつけ、これらを造られた方である神を霊的土台にする必要があります。

この本の目的は三つあります。第一は、管理、資源の創造、社会的正義、そして成功する組織作りという概念および実践を創始し保持されるのは神だ、ということを確認することです。第二は、人間に対する神の目的と、神ご自身が模範となる行動モデルを啓示して私たちを導く方法について、多くのクリスチャンの考え方を変えるお手伝いをすることです。第三は、無数のクリスチャン向けに、急速に高まっているマーケットプレイス・ミニストリー(ビジネス界における伝道・クリスチャンとしてのあり方)への関心を補強し促進すること、それを神がどう受け取っているかということを示すためです。

これまでに私はビジネスに従事する多くの人々が、自分の生活における地域教会の役割とマーケットプレイス・ミニストリーの役割に関してとても苦勞しているのを目の当たりにしてきました。過去には、多くの牧師が自分たちの教会の役割やビジョンに夢中になるあまり、価値あるミニストリーであっても、それが教会運営に直接関係なければ、無視する傾向がありました。一方で、マーケットプレイス・ミニストリーを一般社会における神の御国の本質的な働きとして特定の価値を見出してきた教会指導者の数も増えて来ています。新約聖書は、信者の土台作りと成長にとって地域教会が重要であることを強調しています。このことを信じ、違いをもたらすために、教会の中においても、また世の中においても変革をもたらすために、手を取り合っている牧師がおり、ビジネスミニストリーがあることを私は深く感謝しています。

今日私たちは多くの危機に直面しています。どの危機をとっても、その根本にあるのは次の質問への答えです。その質問とは「人間はどのようにして地球の資源を

神の方法でビジネスを行う

正しく管理し、その富を分配すべきか？」です。キリスト教が本当に、神からのこの世界へのメッセージであるなら、また、聖書が神が与えた「メーカーによる取扱い説明書」であるならば、人間の問題に関するこの根本的な質問に対する答えが、聖書に書かれているに違いありません。私たちの創造主は、人間の労働、通貨、生産的正義や、そして一般的に「経済」と呼ばれているものに関連する法則を確立したのでしょうか？ もしそうなら、これらの法則はどのように機能するのでしょうか？ 聖書はこれらの法則に言及しているのでしょうか？ これらの法則を破る個人、企業、そして国々に対する罰則は何でしょうか？ こういった質問が私の元々の研究とその後の講義の土台となりました。この本にはこれらの質問に対する答えが書かれています。

イエスは次のように明確におっしゃいました。「**あなたの宝のある所には、心もあるからである。**」¹ 私の宝を見つけた者は、私の心を見つけるでしょう。これがすべての真理の最も基本的なことであり、人間性に関するすべての研究の土台となります。心と宝に関する研究をすると、すべては経済とビジネスに関係してきます。キリスト教とは正に、人間の最も基本的な研究、そして人間をそのように造られた神についての研究なのです。

資本と正義を両方生み出す人が21世紀をリードします。この本はこのことについての聖書的土台を確立し、キリストの御国に基づいた、あわれみに満ちた、自由企業システムを支援し補強できると私は信じています。これを読んでいるあなた、そして私が、このことに献身することを人類全体が切実に必要としています。教会は、その存在の重要性と世界的リーダーシップを取り上げる巨大な可能性に直面しています。私たちが利己的な利害を超えて、このチャレンジに応答していくことができるようになることを願います。

最後に、振り返って考えると、この本は意図して「伝道的」に書かれています。つまり、今までの人間の些細な日常に足を踏み入れる代わりに、やみくもに探していたかもしれない人々に、大いに実践的で力を与える神の存在を紹介しているということです。「史上最高のフランチャイズ」とその天才的発明者(神)に仕える者たちの世界へようこそ！

1 マタイによる福音書6:21

導入

経済伝道：魚の食いつくえさで魚を釣る

イエスは彼らに言われた、「わたしについてきなさい。
あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう」。

マタイによる福音書 4:19

➡ の本は、経済的、社会的、組織的原則に関する12の土台的概念の上に構築されています。私はこの12の概念を20年にわたって教え、磨き上げてきました。これらの概念は神の心と人間の心の核心に触れる問題を取り扱っています。進歩的、論理的に提示するために系統的に提示されていますが、必ずしも重要度の順には従っていません。私が言える事は次の通りです。これらの概念はみことばの真理に基づいているので、正しく適用すればうまくいきます。真理は決して失敗することがありません。

この世界を変えるための神のご計画は神ご自身です。神が世界を造られたのであり、神は主に、通常「教会」と呼ばれるご自分の民を通してこの世界を変えます。「教会」という言葉はギリシャ語の「エクレシア」という言葉から来ており、これは、「協議を行う目的のために…公共の場所へ…召しだされた市民の集い」を意味します。ギリシャの歴史に馴染んでいる方は都市国家における古代ギリシャ政治でのエクレシアの役割を知っておられるでしょう。エクレシアのメンバーはその文化の支配者たちであり経営者たちでした。教会は支配者からなる軍隊であるべきであり、それゆえ、聖霊は教会を表すのに「エクレシア」という言葉を選びました。これは決して小さな真理ではありません。

支配権は常に経営的責任と関係してきました。人は自分の家庭をよく治めるこ

神の方法でビジネスを行う

とができなければどうして神のエクレスシア（教会）を治めることができるのでしょうか？² 物事がどのように最も効果的、効率的に運営されるかを計画する以前に、支配する権利が必要です。神は支配者でしょうか？ 明らかにそうです！ 神は人間や国々が最も効果的、効率的に機能するための計画をお持ちでしょうか？ 答えは、はい、はい、そしてはい、です！ 神は「福音」と呼ばれる計画と、「聖書」と呼ばれる詳細な青写真、ご自分の計画を実行するための「教会」と呼ばれる働き人、そして、聖霊と呼ばれる、CEO（最高経営責任者）を持っています。なんと可能性に満ちた事業でしょうか！ 主な問題は、信者によって成り立つ働き人です。彼らは神の作業計画を理解していません。神が与えたこの地上で行うべきプロジェクトに焦点を当てるべきときに、天国にある将来の退職慰労金に焦点を当てているからです。

悲しいかな、神の働き人たちは。そのリーダーの多くから一番大事な事は、天国にある退職後の村であり、この地球上での神の事業に貢献することではないと教えられてきました。人を管理し、雇う方々に質問させてください。あなたが雇う可能性のある人の主な関心が組織の福利厚生や退職金制度に向けられているとしたら、その人の人格や動機をどう思いますか。そのような自己中心的な人を雇いたいと思うのでしょうか？ こう考えてみると、なぜ今のキリスト教界の人々があまりにも無関心で混乱状態にあるかを見ることができます。私たちは退職後のプランに注目してきた結果、自己本位な人ばかりを集める結果となってしまいました。この世の敏腕家たちは私たちを見下しています。そしてキリストがご自分の御国の事業に属すべきであるといった人々が、この世の企業に奪われてしまっているのです。それはすなわち、「**激しく襲う者たち**」であり、「**それ** 〔注釈：御国〕 **を奪い取っている**」人々なのです。³

神は事業計画を持っておられるだけではなく、それを後に来るべき世に拡げており、ご自分の世界を造られる前に、各ステップを事前に計画しておられます。⁴ 神の子供たちは永遠に神と共に働きます。神は急いでいません。なぜかと言いますと、その主要な製品は、神がご自分の事業（御国）を拡げながら、ご自分の従業員や同僚と体験している質の高い生き方と成熟であるからです。これは主要な原則で

2 テモテへの第一の手紙3:4；創世記18:18

3 マタイによる福音書11:12

4 ヨハネの黙示録13:8

あり、見習いとしてのあなたや私が理解し、また実践し、習得することが期待されています。神の事業計画は、ご自分の共同経営者に所有権と成熟度を生み出すことです。この原則に基づいて家族やビジネス、教会、あるいは国家が築き上げるならば、神によって祝福され、繁栄します。なぜなら神が運営するように自分たちのビジネスを運営する人を神は祝福するからです。おや、少し先に進みすぎました。ここで、神の全体的な事業計画にもう一度、注意を向けましょう。

聖書によれば、幼な子だったイエスは、地上での保護者であるマリアとヨセフが、ご自分の居所に関して不安でいっぱいだったことに驚きました。仮にあなたが、神を迷子にさせた責任を取らされたとしたらどう思いますか？なんと貧弱な管理だったでしょうか！宮で指導者たちと会話しているところを発見された時のイエスの反応は傑作でした。「**どうして私をお捜しになったのですか。私が私の父のビジネスをしているにちがいないことを、ご存じなかったのですか。**」⁵ イエス様、正直に言うと、私たちは知りませんでした！私たちはあなたのお父さんが事業を持っていることを知りませんでしたし、こんな日常的、現世的な方法で神様のことを実業家として話すとは思っていませんでした。

さて、キリストの父の「ビジネス」についての適用が現実社会のビジネスに関するものであるというのは「拡大解釈」であるとあなたは考えるかもしれませんが、次のことを覚えてください。ビジネスとは二人以上の当事者間の価値の交換であるということです。この意味において、福音は「ビジネス」です。このイエスのビジネスが中心であるような話はイエスの他のメッセージと矛盾しているのでしょうか？そんな事はありません。次のことを考えてください。新約聖書においては、天国や他のどのテーマよりも、物質的なものや個人的な才能を管理することに関する例え話の方が多いのです。神は物質的なことだけを考えているお方ではありません。神は全ての物質を発明された方であり、すべてを所有しているお方です。神は地上的なビジネス・フランチャイズを持っています。神はある日自ら戻ってきて、ご自分の従業員・共同所有者の影響を、ご自分の造られたすべてのものの支配と管理へと拡大しようとしておられます。⁶ 神にはサタンという名の、邪悪でしつこい競争相手がおり、彼は地上のほとんどを手中に収めています。サタンは大半の信者

5 ルカ 2:49 新アメリカ標準訳聖書抄訳。口語訳では「自分の父の家にいる」。

6 ローマ人への手紙 8:17; エペソ人への手紙 1章

神の方法でビジネスを行う

からはほとんどチャレンジを受けていません。なぜかと言いますと、彼らは退職金制度が一番大切だと思い、地上的フランチャイズが大切ではないと思っているからです。もっと実리적인言い方をしますと、サタンも神も、この地球上の人々の市場シェアを競っています。決断をしていない人や無知な人が伝道の目標です。神が彼らを造られたのであり、愛に満ちた管理者として、ご自身が意図した通りに機能することを望んでいるのです。

それでは、私たちが神のためにどのように人々を「釣る」べきでしょうか？ 結局イエスは私たちを「人間をとる漁師」⁷ にするとおっしゃいましたから。魚は何を食べているのでしょうか？ 彼らは退職金制度にはあまり食いついてきていないことは確かです。そうではなく、彼らは次に掲げるような、人生の実際的な問題をよく食べています。

- どのようにしたら最善の方法で私と私の家族を養うことができるだろうか？
- どのようにして自分や自分の家族、自分の所有物を、暴力や窃盗、没収および社会的崩壊から守ることができるだろうか？
- どのようにして本当に意味のある人間関係を築き、維持することができるだろうか？
- 私が暮らしているシステムはどのようにして私に安全や正義、経済的なチャンスを提供することができるだろうか？

このような質問こそ世界中の人々が問い続けている質問であり、私たちクリスチャンが答えていないもののなのです。私たちはこれらの質問に答えることができるために、福音の提供する将来の退職金制度から目をそらすことを拒みます。質問があまりにも現世的、世の中的に見えるからです。しかし、本当に人々（魚）のことを考えるなら、どうして、彼らが本当に食べたいと思っているものをあげる代わりに、自分が食べさせたいものを彼らに食べさせようと主張するのでしょうか？ 私の知る限り、クリスチャンは、魚がその食習慣を変えることを要求する唯一の漁師であり、魚がスポーツ用品店（私たちの教会）に来て、自ら進んで針を自分の口に入れることを要求しています！私の言いたい事はこういうことです。国々はこの地上で成功する生き方ができる計画を探し求めています。問題は、未信者がどのような

7 マタイによる福音書 4:19

ものを食べるべきかではなく、何を食べているかということなのです。

米国大統領選挙で最も重要な三つの問題は一貫して次のものです。経済、経済、そして経済です。人々の宝のあるところにその心もあります。彼らが実質的なことに対して夢中になることの全てが悪いわけではありません。なぜなら神と神の福音は非常に実質的だからです。本当に残念な事は、この現実の世界に住んでいるクリスチャンがこの現実社会の問題に取り組むことを拒絶することです。これが悲劇的な理由は、神を誤って表すことになり、この世の悪のシステムが人々を搾取し、自由や、成長、生産性を奪うことになるからです。神の福音が今この地上でうまくいかないならば、将来天国では豊かな生活が送れることを未信者にどうして信じてもらうことができるでしょうか？

しかし、神の事業計画は、神がどれほど真剣であるかを神の民が知る時に展開していきます。神はこの競争を克服し、まだコミットしていない魚たちとの契約を結び、そして全世界が一番考えている領域でご自身の明白な優位性を現そうとしています。それはどのような領域かと言いますと、私たちの生活のもっともな備え(経済)です。

私はいくつかの理由から、経済伝道こそが、次に来る未来の主要な波であることを信じています。

(1) 経済問題はすべての人に共通する普遍的な関心ごと(ゆえに、霊的な釣りのための良い餌)です。

(2) 福音は、人間に対するメーカー(神)の目的および、神の創造の秩序にどのように従えばよいかを明確に説明しています。

(3) 個人や企業の自由、尊厳、成長及び正義に関する神の法則は、個人に有益な競争の環境において完璧に働きます。

(4) ビジネスと経済的な成功はどちらも容易に測定することができます。したがっ

神の方法でビジネスを行う

て、政治や社会正義などに携わっている人々とは異なり、ビジネスに携わっている人々は神のみことばを適用し、それが複雑な要因なく働くことが出来るのを直接見ることができます。

(5) クリスチャンは上記の全てに取り組むための神の知恵にアクセスすることができ、私たちは人間の絶望的な必要に満ちている大規模な売手市場で働いています。

何というダイナマイトのような状況でしょうか！ 私たちがしなければならない事は父の事業計画をよりよく知ることであり、それを私たちの生活や責任の場で実践することです。

神の方法でビジネスを行う事は、神がご自分のみ言葉の中で啓示している、管理、成長及び生産性に関する、主要な原則をマスターするための入門の学びです。願わくは、私たちがこれらの原則を見て、実践することができますように。世界の国々は、失敗と抑圧しかもたらさない独裁政治や混乱、経済的失策の中でもがき苦しみながら、私たちを待っています。

私たちが共に歩んでいる旅 — 文化を変える前に、まず私たちが個人として変わらなければなりません

この本は二部構成です。第一部はマーケットプレイスにおけるクリスチャン個人に影響与える神学的問題を扱っており、第二部はその同じ問題や原則を取り上げて、これが私たちの住む政治界にも必然的に影響を与えなければならないということを説明します。私たちは個人の生活から公の生活へと進んでいきます。

真理は家庭でうまくいかなければ真理ではありません。真理がマーケットプレイスでうまく機能しなければ、それは国会においても裁判所においてもうまくいきません。うまくいかないとしたら、何かが根本的に間違っているからです。積極的な言い方をするならば、ある原則が家庭とマーケットプレイスでうまくいかならば、それは同様に秩序や正義、生産性を持って国を治めることにおいてもうまく機能します。

第一部は、神の子供たちとその仕事に対する神のビジョンを明確に理解することが目的です。それによって、私たちの個人生活は根本的に変わり、私たちを創造性と自由の新しい世界へと解放します。

第二部は二つのことを前提とします。(1) 私たちは、自分たちがかつては持っていた歴史的真理をさえ拒絶したために、現在の自由を失いつつあります。(2) あなたや私は神の真理をマーケットプレイスで実践し、公の機関でこれを実践する指導者を選ぶことによって、今混沌と経済的束縛に滑り落ちていくのを食い止めたのです。どちらの問題もクリスチャンの足元にあります。まさに信者はこの地上において、全能者の口、手、足なのです。なぜなら彼らは神の地上におけるフランチャイズを運営し、人々を無知と束縛から解放し、力づけるためにこの地上に置かれているのです。

第 1 部

マーケットプレイス
(市場) における
クリスチャンの役割

第 1 章

神はファミリービジネスを構築している

するとイエスは言われた、「どうしてお捜しになったのですか。
わたしが自分の父の家にいるはずのことを、ご存じなかったのですか。」
ルカによる福音書 2:49

基本原則 1

私有財産を創造したのは神である

神は今日地上で何をしているのでしょうか？ そもそも地の始まりから何をして
いたのでしょうか？ 明日、あるいは、神が歴史を終結させるまでの何年もの
間、神に何をしてほしいと願いますか？ 多くの場合、この質問に対して次のよう
な答えが返ってくるでしょう。「終末が来る前に、あるいは、自分たちが死ぬ前に、
神は必死に働いて、天国にできるだけ多くの人を入れようとしているでしょう」と。
それが本当ならば、聖書が私たちの地上での責任について語っている部分をほとん
どカットして、将来私たちに用意されている退職プランの話にすぐに進むことがで
きたでしょう。

神がご自身の御国を建てあげることはできるでしょう。それは確かに真実です。
しかし、このことに耳を傾ける人はあまり多くないと思います。なぜならあまりに
も多くのクリスチャンが「神の御国」について聞き慣れてしまって、このことに注
意深く耳を傾けないからです。この表現は使い過ぎ、誤用、乱用によって、本来の
意味合いを失ってしまっています。

代わりに私は、神はビジネスマンであり、ビジネスを築いていると言いたいと思います。この言葉は奇抜に聞こえるかもしれませんが、実は聖書的です。導入で述べた通り、このことを把握すれば、歴史における私たちの役割に大改革をもたらすことができるでしょう。

福音主義的信者の間では、次のような態度がよく見られます。「私たちは救いを手に入れた。神は歴史を支配しておられるから、とりあえず自分に関わることをし、大きな罪は避け、可能な時は証しをし、『成功している教会』を立ち上げて、さっさとこの地上から出て行こう。」

これは神が望んでおられることではありません。創世記1:26－28に、神は私たちをご自身の姿に似せて造られ、私たちが地上とそこにあるすべてのものを支配するように定められたとあります。つまり私たちが本質的に神と同じ目標、願望、野望を持ち、未来へ卒業する前に、この地上でそのことを実現していかなければならないということです。神はご自身の秩序の下で、地上にいのちをもたらし、それを実現するために信者を用いようとしておられます。だからこそ私たちは、「まず神の国と神の義とを求め」¹、そして、「御国がきますように。みこころが天に行われるとおりに、地にも行われますように。」²と祈るのです。天国に問題はあります。なすべき仕事はこの地上にあるのです。

神は私たちを通して「オールマイティ&サンズ（全能なる主とその子どもたち）」を地上に拡大しようとしている

簡単な言い方をしましょう。父なる神はファミリービジネスを構築しています。このビジネスを「オールマイティ&サンズ（全能なる主とその子どもたち）」と呼ぶことにしましょう。神はご自身の子どもたちひとりひとりがこの事業のフランチャイズを持つことを願っています。神はこのビジネスが私たちを通して成長することを願っています。ご自身のフランチャイズのブランドを地上に置き、すべての信者がこの事業の一端を担うよう願っているのです。それぞれの地域にあるフランチャイズを通してご自分の子どもたちが祝福を刈り取り、そのビジネスが提供する恩恵を貧しい、傷ついたこの世の人々に提供したいのです。フランチャイズとはそ

1 マタイによる福音書6:33

2 マタイによる福音書6:10

ういものです。フランチャイズが必要な専門知識と力を提供し、あなたが地元の直販店を運営するというわけです。

あなたは新生した時、神の家族に加わりました。あなたはこの事業においてキリストとの共同相続人となりました。³ その瞬間から、神の家族のメンバーとともに、ファミリービジネスの中で自分の位置を占めることができるようにと、父なる神はあなたを訓練し始めました。なぜ地上での神の働きをファミリービジネスと呼ぶのでしょうか？ それはキリストがミナの例え話の中でそのように話しているからです。⁴ キリストご自身を表している身分の高い人が長い旅に行く前に、自分のしもべたちに1ミナ(約3ヶ月分の給与に値する)ずつ与えて言います。「**私が帰るまで、これでビジネス(文字通りビジネスという意味)をきなさい**」(ルカ19章13節欽定訳聖書抄訳)。彼は、戻ってくると「金を与えておいたしもべたちが商売(文字通り、ビジネスを行うこと)でどれほど利益を得たかを知ろうと思って」しもべを呼び出します(15節)。それぞれの利益を確かめた上で彼は、それぞれの商才に比例した新しい責任を与えます。ミナの例え話は、キリストがご自身の御国をどのように支配し、しもべであるご自身の子どもたちにどのように仕事―事業経営に関わるような仕事―を割り与えるかということを表しているのです。

あなたがキリストにあるなら、ジュニア・パートナー(出資者)として地上で神の御国のフランチャイズを拡大することに召されています。⁵ あなたは聖書の中にある、生、人間関係、および資産についての神の管理原則を発見することに召されています。それを個人的に、また、他の人と共に実践し、適切に用いることができるよう聖霊によって訓練を受ける必要があります。あなたは「企業の男性、女性」になるべきです。イエス様のように、父なる神のいのちと祝福をすべての人とすべての状況に拡大するあらゆる可能性を探し求めるべきです。あなたはさらに、自分に任された資源を敬虔に管理し、敵であり、競争相手であるサタンを、自分の生活から、また家族から根絶するように召されています。あなたは地獄の門⁶を攻撃する機会を探し求め、サタンの世的システムの捕虜となってしまった人々の思いや道徳

3 ローマ人への手紙8:17

4 ルカの福音書9:11-27

5 ローマ人への手紙8:17

6 マタイによる福音書16:18

やライフスタイルを解放しなければなりません。

あなたはただ救われたのではなく選抜されたのです！ あなたは自分の内側で、また外に出て行って地の果てに及ぶまで、このファミリービジネスを拡大していくのです。これは、諸原則に基づいて運営されます。あなたはそれらの諸原則を学び、どんどん熟練して実際に用いていくことを期待されているのです。友よ、あなたは神のMBA(経営学修士)プログラムに入っているのです。唯一重要なことは、あなたがどのような学生／従業員であるかということです。あなたは自分と、天にある退職プログラムの事だけを考えていますか。それともイエスがしたように、地上における父の事業を拡大することを考えているでしょうか。

この本は聖書の経済学とマネジメントの12の基本原則に基づいて書かれています。12の基本原則には、

それぞれ直接的に導かれた結論あるいはそこから派生した真理が含まれており、マネジメントの主要な領域に触れ、国家的または国際的経済問題にも触れていきます。第一章でこれから論じる基本原則は、神の私有財産の創造について言及します。この学びの全体から言えばこれは「出発点」であり、経済に関する聖書の学びの導入と言えます。

物質を所有することが罪だとしたら神は罪人のかしらである

神は「私有財産」と呼ばれるものの概念を考え出したお方です。神は、霊的なものも物質的なものも含めてすべてのものを造られ、所有しておられます。あなたがもし、物質的なものを所有することは霊的でなく肉적であるという反聖書的なグノーシス主義の異端に騙されて、信じているなら、神は罪人のかしらであり、私たちの中で最も肉的な存在であると信じていることに論理的にはなってしまいます。しかしそう信じてはいないでしょう。これは偽教師が私たちに教えようとしてきたことです。おそらく、彼らも自分たちが教えてきた偽りがどのような意味を持つことになるかは分かっていなかったでしょう。真実は、私有財産や物質的財産と、それに伴う聖書的な権利や責任も含めて、これらすべてはそもそも神の考えであり、搾取をもたらす人間やサタンの考えではありません。神はご自身がすべての物質の

所有者であり、正式権利を持つ本当の所有者であると宣言されました。「地と、それに満ちるもの、世界と、そのなかに住む者とは主のものである。」⁷

これは、財産を所有することによって、他人の物質的必要を無視し、無関心であってもいいということではありません。私が奨励・推進しているような社会奉仕プロジェクトについて理解している人々はこのことをわきまえています。しかし、聖書からその真実を明らかにしましょう。すべての資源は神の所有物であり、神のために管理するために人間に貸し出されています。それは、地上において神の国のフランチャイズを拡大するために用いられるべきです。私有財産という概念を攻撃し、その起源を知っている、ルソー、カール・マルクス、あるいは、リベラル主義的教授が、すべての私有財産は窃盗であるという間違った主張をすることは、簡単に言えば反キリスト的なのです。

ここで哲学の授業を教えるわけではありませんが、この、反財産、反物質的な信念体系は、「グノーシス主義」と呼ばれる古くからある概念であり、初代の教父たちが何百年の間、断固として戦ってきたもののなのです。それは「二元論」と呼ばれ、基本的には、霊は「良く」、物質は「悪く」、真に霊的になるためには、すべての物質的なものを退け、「霊にあって」生きるべきだと述べます。しかし聖霊は、私たちが完全に祝福され、あらゆること、つまり霊的なことにおいても、自然なことにおいても、その両方において繁栄する⁸ようにと私たちを励まします。

神は、私たちが貧困へと召しているのではなく、私たちが真理を自分のものとすることを望んでいる

キリスト教、そして全世界は二つのものによって壊滅的な影響を受けています。第一に、真の霊性は貧困においてのみ存在するという考え方。そして第二に、真の霊性はこの世とそこにあるチャレンジを拒絶しなければならないという考え方。物質世界や、物やサービスなどを所有し管理することに対する否定的な考えに関連している、二つの大きな真理を思い起してください。

1. パウロがピリピ人への手紙2章で私たちに言っているように、イエスは、父を喜ばせ、

⁷ 詩篇24:1

⁸ ヨハネの第三の手紙2節

謙遜を表すために、栄光(彼が持っていたすべてのもの)からご自身を無にしました。イエスがご自身の天的な力を手放したのは美德によることであり、ご自身の所有しておられるものが本質的に邪悪なものであったからではありません。もし邪悪だとしたらなぜそれをヨハネ17:5で再び与えてくださいと求めたのでしょうか。神はご自身の創造主としての固有の権利を捨てることによって、すべてのものに勝利されました。この原則のことを「反対の霊のうちに行動する」と言い、この場で学ぶにはあまりにも深い内容です。重要なのは、イエスはある時期に理由があつて貧しくなられたということです。初臨においてこのことを完成した後、イエスは再び、それ以前に持っていた威厳、力、所有権を身に付けたのです。⁹

2. 神は、物質世界とその管理を拒絶するのではなく、むしろそれを定めるのです。神はご自身の霊的なアイディアを物質世界の中に受肉させるのです。イエス・キリストはこのことの「物証その1」です。「そして言は肉体となり、わたしたちのうちに宿った。」¹⁰ 神はアイディアを思いつくとき、それをご自身の世界の中に受肉させます。すべてのものを物質から取り出し、霊的にしようと願う偽教師と比べて、神は全く反対の働き方をなされます。神は神を信じる者たちがご自身の御霊によって支配され、彼らがご自身の被造物に秩序をもたらしていくようにと働かれます。

1987年のある日、ジョギングをしていた時に、神が次のことを私に深く印象付けてくださいました。「デニス、あなたと私はそれぞれ反対方向に進んでいます。私はもっともっと地上で獲得するために動いていますが、あなたは早く地上から去りたいと願っています。」私は泣き出しました。何が問題なのかがわかってきたからです。神の子どもたちは地上から離れて、「霊」の中に入ろうとしますが、神はそれとは反対に、もっとこの地に働き、物質界にご自身の子どもたちを通して入り込み、ご自身のフランチャイズを広げようとしています。突然、「御国がきますように。みこころが天に行われるとおり、地にも行われますように」(マタイによる福音書6:10)というキリストの祈りに対する全く新しいレベルの理解が与えられました。問題は天にある霊にあるのではなく、私たちのいる地上の物質世界にあるのです！ここでさまざまな活動がなされ、フランチャイズが広げられるべきなのです。道理でサタンが私たちに物質世界を拒絶させ、それに伴う管理やマネジメント

9 ヨハネによる福音書17:5

10 ヨハネによる福音書1:14

を拒絶させようとするわけです。サタンは自分と自分のフランチャイズのために地上が欲しいのです。それは確かに賢い動きですが十分に賢くはありません。神の子どもたちは目覚め始めており、管理能力と悟りを与えられている人は特に覚醒しはじめています。彼らは自分たちの製品がサタンのものよりはるかに優れていることを知っているのです。

神の御国に二級市民はいない

物質管理に対する偽りの教えは、特に一般的なクリスチャンに壊滅的な打撃を与えました。一般的なクリスチャンは牧師とは違って、物質世界で自分の生計を立てなければなりません。この偽りの教えは教会の中で「二級市民」的な考えを促進してしまう結果となりました。その偽りの考えとは、次のような具合です。もしあなたが霊的で、「神の働きに召されている」のであれば神の働きにフルタイムで携わるようになります。もしそうでなければ、あなたは墮落した世界で働き、できるところで貢献をし、時々なぜ神は十分に自分を愛して「フルタイム」の働きをさせ、この物質世界の重荷の下から出してくれないのだろうかと思惑うことがあります。良くてあなたは執事か日曜学校教師になるかもしれませんが、それでも自分は物質的なもので汚染されていると感じるのです。最悪の場合は地域教会の「ドル箱」になり、様々なプロジェクトを黒字で維持するという召しを受けるのです。

しかし、神をほめたたえます。すでに霊的革命が始まっているからです。それはマルチン・ルターの「万人祭司」革命と似ています。ルターが主張したようにすべての信者が主の前に祭司であるだけでなく、¹¹ 御霊に導かれたすべての職業は神によって定められたものであり、もともと価値のあるものです。神の国のフランチャイズは様々な種類の労働者を必要としています。配管工、公認会計士、セールスマン、主婦、企業幹部などです。これらの人々はすべて父の御心や神の国の生き方を、生活のあらゆる領域に拡大させるために召されているのです。いったん神が不動産の所有者であり、霊が肉となった物質管理者であることを理解すれば、あなたはもはや二級市民では無いことがわかります。私たちが最初に出エジプト記31:1-3を読んだ時に、この解放的な真理のヒントを得るべきでした。モーセの会衆の中で最初に「御霊に満たされた」人々は、熟練した職人や工芸人だったのです。

11 ペテロの第一の手紙2:9

牧師またビジネスマンとして私が率直に言えることは、もし多くのビジネスが教会のように運営されたら、一年で破産するだろうということです。牧師や教会を非難しているのではなく、教会にある普遍的な世間知らずな純朴なことを述べています。「霊的」になろうと一生懸命になるあまり、私たちは聖書的なスキルである、計画、戦略目標、予算分析、生産性、説明責任や他の「この世的な」マネジメント・スキルを拒絶してしまったのです。ただ単純に、こういったことは物質的な資源の世界で働くものであり、魂の世界で働くとは思わなかったからです。感謝なことにこのグノーシス主義的ナンセンスは、資源の所有者であり、戦略的思想家である神に譲歩し始めています。このフランチャイズは認められ始めていて、特にビジネス界のプロや日常的な聖徒たちが応答し始めています。人や物を管理することは罪ではなく、これこそがフランチャイズの任務です。

私たちの霊的スキルは地上での時間で向上する

パウロは、ガラテヤ人への手紙3:23～4:7の中で、父によって父の元へ召されて更なる管理責任を与えられるまでは、神の子たちが養育係の下で守られ、その養育係によって訓練され整えられるということについて見事に説明しています。地上での生活の規律の下、神はやがて私たちを、奴隷としてではなく相続人としてご自身のもとへと召します¹²。地上に滞在している間中、私たちは人生、現実、人間関係、そして物を管理するというような様々な問題に取り組むことによって訓練され、更なる訓練と責任を任せられるように整えられます。次の世において、豊かに実を結ぶ聖徒たちは、堅琴を持って雲の間で浮かぶのではなく、町を治めるようになります。ある聖徒たちは、黄金のスリッパを履いてラウンジを治めるのではなく、国全体¹³を治めるようになります。なぜなら神はこの世界の究極的なマネージャーであり、地球いう惑星を出発点として用い、ご自身の子どもたちを、キリストのもとでこれらすべてを支配する者となるように訓練しているのです。実に、力というものは問題があることによって守られるので、すべてのフランチャイズ訓練生はこの地上における問題を解決するために、どのように神のみことばを適用するかを学ぶ機会が十分に与えられます。

この地は神によって私たちに割り当てられたワークショップであり、人はただ単

12 ガラテヤ人への手紙4:7

13 マタイによる福音書24:46,47; ルカによる福音書12:44; ヨハネの黙示録2:26

に自分たちを罪を避けるためにここにいるわけではありません。人は更に、罪を追いつ返し、被造物に対しての罪の効果を無効にするためにここにいるのです。

マタイによる福音書16:18において、イエスは地獄の門もご自身の教会には打ち勝てないとおっしゃいました。ほとんどのクリスチャンは、最後の最後にイエスが私たちを救出してくださるまで、地獄の門によって飲み込まれることがないようにすることが自分の仕事だと思っています。しかしそれは、キリストが言っておられることではありません。

前にも述べましたが、イエスは私たちを「エクレシア」と呼びます。エクレシアとは、ギリシャ世界において何百年もよく知られた機関でした。これは市民活動を取り仕切る代表者の集まりでした。落ちぶれた軍隊でも、迫害され恐怖に怯える少数派でもありませんでした。正式に構成された権限でした。キリストは、ご自身の民をエクレシア（私たちが「教会」と訳する）と呼ぶことによって、暗黙のうちに、私たちに世界情勢に関わる権威を与えています。ローマ帝国が教会を大きなチャレンジや、脅威と感じたのはこれが理由の一部です。

キリストの目的は、私たちが地獄の門をなんとか抑えることによって、地獄の怒りを乗り切るということではありません。そうではなく、私たちはキリストの権威のもと、キリストのエクレシアとして、地獄の門を攻撃し、つぶし、それによって、この世における地獄の影響を減らし、キリストがすべてのすべてであるという真理を現していくことなのです。

多くの試練は学ぶためのレッスン

地上が私たちのワークショップであり、そこは試練、チャレンジ、反対に満ちています。そして、神は、そのすべてが私たちの成長の助けになるように意図しておられます。私たちは地獄の門を攻撃すべきなのです。攻撃する武器は鉄砲や爆弾ではありません。私たちの武器は神のみことばへの従順、祈り、説教、教え、ディベート、そして必要のある人たちのための自己犠牲的奉仕なのです。これらを実行することで、人々を奴隷にする偽の霊的イデオロギーや行動を引きずり降ろすことができます。つまり、私たちが、神の現実を見、命令を聞いて行うという聖書的世界観

を発見し、実践するということです。私たちが、この聖書的世界観を通して聖霊の力によって神のみことばを実行していくとき、自然にリバイバルが起こるのです。

父のワークショップにおいて私たちは天国のために準備されています。しかしほとんどの信者は、神がワークショップで提供する問題を取り扱いたくないのです。彼らは、全ての問題がサタンの攻撃であると思い込んでしまいます。もしサタンが存在しなかったら、きっと信者たちがサタンを発明したのではないのでしょうか！私たちのチャレンジのほとんどが練習であり、神がワークショップにおいて私たちのために準備したレッスンです。それらを悪魔のせいせずに、みことばによって解決すべき神からのレッスンだと受け入れ始めたら、私たちは神のみことばを全く新しい実用的な方法で体験するでしょう。そうすれば私たちは、「**善悪を見わける感覚を実際に働かせて訓練された成人**」¹⁴ のようになります。

これらの真理はすべて、神が物質世界を創造されたこと、自身の代理として人間のその世界を管理するよう命じたこと、そして神の方法で問題を解決することに帰着するのです。この章で神学的基盤に多くの時間を割くのは、この基盤がなければ道路のどちら側かに落ちてしまう危険があるからです。片方は、私たちが単純な物質主義に陥ることです。大切なことは神の子が「金持ちになる」ことではなく、神の目的と方法で神の資源を管理すべきだということを忘れてしまうことです。もう一方には偽善的な霊性という問題があります。財産を管理することを拒み、その代わりに、「フルタイムミニストリー」や「霊的」な事のみを大切にするのです。バランスのとれたミニストリーは、物質や幽霊を追い求めるのではなく、神を追い求めるのです。

現実の世界で現実の物を治めることが真の課題である

すでに書いたようにサタンの戦略は、資産や物質の管理に対しての攻撃です。サタンがこの地上の資源を支配することができるためであり、捕われた国々がキリスト教によってチャレンジを受けることがないようにするためです。サタンは完全に独占したいのです。サタンの国も神の御国も、その力を拡大するために、物質的な人間の体や、物質的資源を必要としますが、偽りや人を惑わす「霊的な」思い込みが、神の民の目をくらまします。これに加えて、ほとんどの人は、未来の「霊的な」

14 ヘブル人への手紙5:14

世界ではなく、この物質世界で成功して生きようとしています。

この点から、私たちがいかに大きな問題に直面しているかがすぐにわかります。多くの信者はキリストの福音は主に未来に関わる事であると信じており、それによって福音は目の前の現実のために生きる未信者には関係のないものとなります。信者と未信者はコミュニケーションを取ることをさえしていません。キリストの御国のメッセージこそがこの溝を埋めます。目の前の現実世界での見習い実習期間における原則によって、現在と永遠がいかにつながっているかがはっきりと示されているからです。今持っているものをよく治める事は、あなたの未来と、これから負うことになる責任のレベルへの足掛かりとなるのです。

学んだことを適用しよう

私のメッセージの核心は「アメリカ合衆国(あるいはほかの国)を救いましょう」というものではありません。もちろん私たちは国々を愛していますが、「救う」ためにここにいるわけではありません。むしろ、父なる神の地上にあるワークショップで従順の訓練を受けるため自分たちをささげようとしてここにいるのです。私たちの従順が実を結べば、国々を弟子化することは自然に起きようになります。私たちはキリストの運命―すべてののすべてとなる―を成就するために父が用いる効果的な道具になりたいのです。私たちはこういって、教会をワークショップへと招いています。「父なる神はオールマイティ&サンズを構築しており、それを構築するにあたって、私たちが聖書を人間の生活全般に適用することを求めておられます。」

神は私たちにすばらしいチャンスを与えてくださっています。サタンの世俗的システムのフランチャイズは船を座礁させる方向へ向かわせています。船が座礁する時、船は壊れ始め、やがて沈没します。私たちは世に、この船をどのように岩から持ちあげ、修理するかを見せることができます。そのために私たちは聖書の真理にしっかりと立ち、この世の考えを支配し現在の崩壊に至らせた偽りを破壊しなければなりません。

イエスが「私が帰ってくるまで、これで商売をしなさい」と言ったとき、私たちの多くはこれまでその意味を誤解してきました。私たちのすべき事は「救われて、

清く歩み、居心地の良い交わりの中にとどまり、世の人は地獄に行かせるがいい」そして、「主をほめたたえます。イエスは、父なる神がご自身で正すことのできない混乱の中から私たちを救うために来られます」という程度のことだと思っていました。私はこの信仰を単純に「不信仰」と呼びます！

この敗北主義的メッセージは、歴史に影響を及ぼしたような福音ではありません。これは18世紀、19世紀の世俗的「啓蒙」哲学から出てきました。これは、キリスト教は人間の一時的な問題を解決するものではなく、地上に住む人々を導き、世話をするためのものではないという、偶像的な考え方の根源です。これは現代の福音派の多くの人々を、聖書は人が天国に入る方法を教えるのには良いが、どのように家庭を治めるかとか、ましてやビジネスをどのように営むかとか、都市や国家を統治することについては一切語られていないという考えに導きました。

この誤りは、無実聞こえる次のような言葉に包まれてやってきます。「聖書は経済学の教科書ではない（救い以外の、科学、法律、政治の教科書でもない）。」確かにそう言えるでしょう。聖書はこれらのうち一つのテーマに関する教科書ではありません。むしろこれら全ての科目の、そして人生における他のあらゆることの教科書です。聖書は、一つ一つのテーマを個別に取り上げる組織的な教科書として読むものではありません。聖書は、人生のすべてを、互いに織り込まれて影響を与え合うようにと造られた神の靈感によって書かれているものだからです。

父のフランチャイズ構築ルールを素早くチェック

世の中の方法で世の中を変えようとはしません。私たちはマルクス主義革命家の戦略や、資本主義の領主や、その他のいかなる世俗的な運動の戦略を真似するようなことはしません。そうではなくて、私たちは四つの聖書的原則の上に神のファミリービジネスを構築します。

1. 変革は内側から外側へもたらされなければならない、それは個人的であり組織的でもあります。
2. 変革は地域から国家、そして国際的に進行しなければなりません（下から上に向かって）。

3. 変革は包括的でなければならず、人生の全ての領域に影響し、今日から永遠に至るものです。
4. 変革は神を敬う敬虔なサーバント・リーダーによる管理によってなされるべきであり、専制的買収であってはなりません。

私たちは神のパターンに従って構築しなければなりません。神はこの世を内側から外に向かって変革し、小さいことから始めて大きく成長させ、人生の全ての要素を変革し、しもべの心を持った人を用います。国家を法律によってのみ良い方向に変えることはできません。再生と聖化が起こる結果、法律が変わるという実を結ぶのです。

最初の2つの原則は互いに深く関係しており、イエスの神の御国についての言葉に表されています。神の国はいつ来るのかと、パリサイ人が尋ねたので、イエスは答えて言われた、「**神の国は、見られるかたちで来るものではない。また『見よ、ここにある』『あそこにある』などとも言えない。神の国は、実にあなたがたのただ中にあるのだ。』**¹⁵

「**神の国は何に似ているか。またそれを何にたとえようか。一粒のからし種のようなものである。ある人がそれを取って庭にまくと、育って木となり、空の鳥もその枝に宿るようになる。…パン種のようなものである。女がそれを取って三斗の粉の中に混ぜると、全体がふくらんでくる。』** ルカによる福音書 13:18-19,21

私たちが外側の変革を推し進めないという意味ではありません。むしろそうします。地域であれ国家であれ、私たちの私たちが外側の変革を推し進めないという意味ではありません。むしろそうします。地域であれ国家であれ、私たちの確信は公共政策を変えることにはありません。まず個人や家族、そして、さらに広い範囲で働く神の変革の力に確信を置いています。「**だれでも新しく生まれなければ…**」¹⁶ これは人間が根本的に新生しなければならないということです。

三つ目の原則は、総合的に構築しなければならないということです。パウロはテ

15 ルカによる福音書 17:20,21

16 ヨハネによる福音書 3:3

モチに、神は「すべての良い働き」を行う人々を十分に整えるために、聖書に¹⁷必要なものすべてを入れたと言っています。私たち「新約聖書のクリスチャン」はあまりにも多くの場合、新約聖書の側面だけで聖書を読もうとします。しかしパウロはここで旧約聖書のことを語っています。なぜなら、当時新約聖書はまだ存在しておらず、未完成だったからです。聖書を学びなさいという新約聖書の勧めすべては旧約聖書に直接適用されるものであり、新約聖書に対しては間接的にのみ適用されます。私たちが直面するチャレンジは、明確さと油注ぎと集中力を持って聖書全体を学び、反抗的人間のすべての問題に対して対処することです。私たちは新約聖書という半分の剣ではなく、剣全体を必要としています！

家族を再構築する鍵は聖書の中にあります。個人を再構築する鍵は聖書の中にあります。麻薬問題の解決は聖書の中にあります。教育の失敗に対する解決は聖書の中にあります。課税、農業、環境の困難、つまり反抗的な人間が作り出した問題は、聖書を組織的かつ戦略的に学び、適用することによって解決されるべきです。私たちが神の書物である聖書を真剣に受け止める時、神は、支配と権威に、天から見ているすべての者たちに、そして、私たちを雲のように取り囲んでいる証人たちに、ご自身のみことばが真に生きており、力強く問題を解決することができるものであることを証明してください。あなたはそのことを信じますか？

聖徒たちは地を受け継ぐように召されています。¹⁸ 私たちが受け継ぐのは責任であって、豎琴でもなく、黄金のスリッパでもなく、永遠の退職村への旅行でもありません。私たちは仕事に召されています。それはキリストも仕事をするからであり、神も仕事に献身しているからです。覚えていてください。仕事は人間の堕落以前に命じられているということを。¹⁹ キリスト教は職業倫理を再び活性化しなければなりません。

四つ目の原則は、真のリーダーシップはしもべであることによるということです。キリストは言いました。「あなたがたの間でかしらになりたいと思う者は、僕とならねばならない。それは、人の子がきたのも、仕えられるためではなく、仕え

17 テモテへの第二の手紙3:16-17

18 マタイによる福音書5:5

19 創世記1:26-28

るためであり…」²⁰ 神は、イエスを模範にしながら、自らへりくだり、しもべの姿を取る人を尊びます。²¹

私たちは次の五つの真理を、一つずつ適用しながら、社会的、経済的変革に影響を及ぼすことを目的にしています。

1. 自由は、神のもとで自分を治める事から始まります。
2. 家族は健全な共同体の基本となる単位です。
3. 地域教会は効果的なクリスチャンの働きのための主要な装備センターです。
4. 私有財産の管理は個人または社会の成熟のために不可欠です。
5. 国家の再構築は、地域共同体を再構築することから始まります。

これらの真理はこの本の残りの中でさらに深く探求していきます。ここでは「イエス・キリストは私たちに人間関係、賜物、また、世話をする対象を与えることによって私たちを成熟へと導く」というにとどめておきましょう。

国家という偶像を信頼させることを目的とする社会主義的計略が次のようなものであった事は偶然ではありません。(a) 公教育を乗っ取り、子どもたちの心を奪い去ること。(b) 本質的に私有財産を廃止し、一般大衆から管理をはぎ取ること。そして、(c) 教会を壊滅させるか、天国的なことだけを取り扱う人々に限るようにすること。これらが新しい社会的秩序の三つの土台です。つまり子どもたち、資産、そして教会です。

ところで、共産主義国家の崩壊によってマルクス主義的考えがもはや脅威でないとなあなたが思っているのであれば、あなたは多くのアメリカの大学をコントロールしている人々や考えをよく見ていなかったということになります。

経済的大変動は教会への警鐘です

なぜ民間を強調するのでしょうか？ なぜなら聖なる神が、この国また他の国々をさばいているからです。神のさばきは巨大な経済的大変動をもたらします。神は

20 マタイによる福音書 20:27-28

21 ピリピ人への手紙 2:5-11

歴史において常に経済的大変動を用いてきました。さまざまな文化の終焉を研究する人なら誰でもこれを見ることができるでしょう。

神が徐々にこの時代の公的機関に資金が行かないようにするにつれて、民間がその穴埋めをするために出現せざるを得なくなります。公共機関は人々の必要を満たすための収入が足らなくなってきており、破産しかけています。市、州、及び連邦政府の赤字が増えています。やがて公共部門は、必然的に民間に助けを求めるようになります。これが、神の民が、しもべとなることにより、また、私たちが実践を通して学んだ管理に関する聖書の真理によって国家を再び勝ち取るチャンスとなります。これは私たちが決して見逃してはならない、また神の助けにより、見逃すことのないチャンスとなります。このことに、父のフランチャイズの拡張がかかっています！

その車輪が外れた時のために、私たちは準備していなければなりません。クリスチャンのビジネスウーマンそしてビジネスマンであるあなたは、この必要に対する神の答えの核心に置かれています。私たちは、自分が個人的生活なかで実践して学んでいなければ、他の人を手助けすることはできません。私たちが邁進すべき仕事は、自分の影響力の範囲において神のみことばを実践的に適用することを学ぶことです。そうする時、警鐘は私たちを驚かせるものではなく、興奮させるものとなります。

About Dennis Peacocke

著者 デニス・ピーコック

元ビジネスオーナーであり牧師のデニス・ピーコックは、現代社会のあらゆる状況に役立つキリストの教えを実証することを専門とする、リーダーシップの組織であるGoStrategicの設立者です。デニスは45年以上にわたり、社会的正義に関心を持ち続けてきました。大学時代には、公民権運動や言論の自由運動に関わることでそれらを表現していました。彼は、激動の60年代の真っ只中にバークレーで政治学を専攻し、卒業しました。1968年にキリスト教に改宗して以来、家族、教会、企業、政府が直面する多くの難題に聖書的解決策を適用する独自の方法により、講演者及び戦略家として国際的な尊敬を集めました。デニスは「On the Destiny of Nations」、「Winning the Battle for the Minds of Men」、「Doing Business God's Way」及び「The Emperor Has No Clothes」という4冊の著者であり、また多数のオーディオ・ビデオの教育シリーズもリリースしています。デニスと妻のジャンはカリフォルニア州サンタローザに住んでいます。彼らには成人した子供が三人、孫が12人います。

About GoStrategic

GoStrategicについて

GoStrategicは、目の前にある現実的な社会問題の解決に霊的な真実を適用させていく方法を教育することを専門としています。

私たちは30年以上にわたり、同じ思いを持つ人々を教え、実践し、また人々を繋ぎ続けてきました。最も複雑な課題に聖書の原則を適用することで、実際に変革が起こされるところを今日まで見る事ができています。

GoStrategicは国際的な団体であり、通信スクール、イベント、教材、ネットワーキング、コンサルティングサービスを通じてクリスチャンを教育しています。

私たちが提供する教材から学んだクリスチャンが、地域を再建、修復、回復するために一歩踏み出し、何千ものコミュニティが変革されていくことを心より願っています。

当社の英語サイトは、こちらのURLよりご覧頂けます。

www.gostrategic.org

神の方法でビジネスを行う

神がどのようにリソースを管理するかを学び
私たちも良き管理者となろう

定価（本体 2,000 円＋税）

2024 年 6 月 30 日 初版第 1 刷 発行

著 者：デニス・ピーコック

訳 者：Gerald Goodall, Aki Banks, Kumiko Jenkins, Lena Sakamoto

発行人：Katherine Gallagher

発行所：Rebuild

印 刷：（宗）ニューライフ・ミニストリーズ 新生宣教団

乱丁・落丁はお取替えいたします。

Printed in Japan

ISBN 978-4-88703-146-3 C0016 ¥2000E